

キラリ わたしの学校

小野小学校

問い合わせ 学校教育課 (☎508212)
小野小学校 (☎22546)

～児童主体の活動の充実に向けて～

小野小学校では、自ら考え、自ら行動できる児童の育成に向け、児童主体の取り組みの充実に向けて努めています。

各専門委員会では「笑顔であいさつができる小野小」など、目指す学校の姿を自分たちで決め、協力しながら日々の活動に取り組んでいます。学校教育目標の実現に向け、学校・子どもたち・家庭・地域それぞれが取り組む内容を示した「夢に向かってかがやく子」育成アクションプランについても、学級委員会を中心に話し合い、取り組み内容を具体化しました。

異なる学年同士が1つの班になって遊びや読み聞かせなどを行う「レインボー活動」では、6年生を中心にみんなが楽しめる遊びを計画します。上級生は



↑学級委員会が、全校児童に向けて「夢に向かってかがやく子」育成アクションプランの内容や自分の努力点を伝えました。

「下級生も楽しめるような特別ルールをつくる」などをして、全ての学年が楽しめるような工夫を凝らしています。

児童主体の活動を充実させるためには、児童自身が集団をまとめていく力が必要です。小野小、小野中では、各校の学級委員や生徒会役員などによる合同の「リーダー会議」を開催し、リーダーの役割や目指すリーダー像について話し合いました。小学生も中学生の考えに触れながら「みんなのために・・・したい」など意識を高めていました。

今後も、児童主体の活動を充実させ、児童一人一人が生き生きと学び、生活できる学校にしていきたいと思ひます。



Name
ありかわ まどかさん たかいわ なな 高岩七菜さん みやした さやか 宮下清歌さん くりはら りこ 栗原璃子さん

人権を考える

問い合わせ 生涯学習課 (☎26888)
福祉課 (☎402297)



～同和問題～

皆さんは同和問題を知っていますか。同和問題は日本の歴史的過程の中で形づくられた日本固有の人権問題です。

同和問題の歴史的経緯

同和問題の起りである身分差別について、小・中学校では「江戸時代の社会」の中で、次のように学んでいます。
○土農工商の下に「えた」「ひにん」という身分があった
○「えた」「ひにん」は、農業のほか死んだ牛馬の解体・皮革業・役人の下働き・雪駄作りなどの仕事をしてきた
○「えた」「ひにん」は、住む場所や服装・ほかの身分との交際を制限された
こうした状況が長く続きましたが、明治維新の解放令により四民平等となり身分制度はなくなりましした。しかし、この四民平等は形だけの制度で、差別をなくすための政策は行われず、生活は改善されませんでした。
同和問題改善の動きは、戦後、日本国憲法ができて遅々として進まず、昭和40年の同

和对策審議会答申を待たなければなりません。同答申では「同和問題解決は国の責務であり、国民的課題である」とされ、昭和44年から平成14年まで33年間にわたる経済政策を中心とした対策事業が行われ、生活環境が改善されてきました。しかし差別意識については完全に拭き切れていないのが現状です。

昨年度も県内の公共施設に差別落書きが見つかりました。また戸籍謄本などの不正取得による、身元調査を基にした就職や結婚の際の差別事例、嫌がらせや誹謗中傷の事例がみられます。さらにインターネット上に昔の被差別地域の情報を公開して拡散させ、差別を助長する動きもなくなりません。

部落差別解消推進法

こうした状況の中、平成28年に「部落差別の解消の推進に関する法律」が施行されました。「部落差別は存在する」と初めて法律上で明記され、「部落差別のない社会を実現

することを目的とする」とうたわれています。国や地方公共団体の部落差別解消に向けた責務が明示され、必要な教育や啓発を行うことが求められています。

本市の取り組み

同和問題を根本から解決するには、昔の風習にとらわれず、うわさや誤解に惑わされることがないようにしなければなりません。この問題を正しく理解することが必要です。そのために、本市では人権問題全般について学ぶ機会として、人権講演会、人権啓発指導者養成講座、集会所での学習会、いじめ問題解決に向けた教育懇談会などを開催しています。子どもたちは、いじめ問題解決に向けた子ども会議を行いました。各学校で共通の取り組みを進めたりしてきています。

一人一人が人権問題に関心を持って、正しい知識の下に、正しい判断ができるようにし、思いやりと優しさに満ちた藤岡市にしていきたいです。

本の出会い

図書館司書がセレクトした新刊情報

開館時間 午前9時～午後8時(土・日曜日、祝日は午後5時まで)
休館日 月曜日
問い合わせ 図書館 (☎21669)

妻の終活



著者▷坂井 希久子
私が死んだらこの人は生きていけるのか？結婚42年、仕事一筋の男と家を守ってきた女。余命一年を宣告された妻が夫に遺す「最期のしごと」。別れを前にした夫婦の姿を描く。

幸福になるための人生のトリセツ



著者▷黒川 伊保子
仕事や家族や子育てのイライラ、夫婦の擦れ違い、話が通じない上司への不満、定年後の不安。人生いろいろあるけれど、脳を知れば人生が楽になる。大人に向けた脳科学の指南書。

カッコウの微笑み



著者▷福田 和代
ハッカーの太一は依頼を受け、製薬会社のデータを盗む。依頼主の待野は太一のような人間を束ねる組織を率いていたが、不審な死を遂げる。真相を探る太一に影が忍び寄り…。